

保津川かわまちづくり ニュース

●水端かわまちづくりワーキンググループ

水端かわまちづくり WG とは

水端かわまちづくり WG は保津川左岸の河川空間の利活用方法を検討しているグループです。検討対象エリア全体は保津町に位置し、エリア周辺に隣接する農地では地元において水端農園プランやじゃこ田ミュージアム構想を策定されており、それら地域のまちづくり構想と一体となった土地利用計画づくりを進めています。また、河川整備の進捗が最も早いエリアであるため、先行して取り組みを進めるモデル地区としての役割も担っています。

水端かわまちづくり WG の検討内容

●対象エリアの特徴

- ゾーン面積約 7.0ha
- 東西に細長く平坦でまとまった敷地
- 隣接農地で保津町が水端農園プランを計画
- 堤防の花回廊整備



●主な検討内容

●高水敷の利活用及び維持管理方法の検討

・駐車・駐輪スペースや多様な市民が利用できる多目的広場、水端農園プランと連携した BBQ やオープンカフェなど高水敷の利活用及び運営・維持管理方法を検討しています。



●じゃこ田の再生の検討

・シンボルのアユモドキをはじめ、多様な生物が住める環境整備の方法を検討しています。



●左岸堤防の園路計画

・桜と紅葉が植えられている花回廊沿いに、来訪者が散策できる園路を整備します。



キーワード

自然共生

にぎわい

地元主体

開催経過と会議のまとめ

●平成 23 年度

第1回 (11月25日)

- 河川利用にあたっての基本的事項
- 左岸園路部の計画について
- 地区をとりまく現況について
- 地元提案資料の紹介
- 意見交換 (会議形式)

- 左岸園路部は維持管理しやすさ、高齢者にやさしいなどの意見を踏まえて検討する
- 亀岡市は市全体の計画の中でかわまちづくりをどのように位置づけ、地元の数ある提案の中で何を市として絞っていきたいかを検討し、実現性や方向性について今後検討する

●平成 24 年度

第2回 (5月8日)

- 左岸園路部の計画について
- 高水敷の利活用について
- 今後の進め方について
- 意見交換 (会議形式)

- 左岸園路部は、今回提案された計画で整備を実施する
- 高水敷の土地利用は、亀岡市がたたき台となる具体的な基本計画 (案) を用意し、各メンバーは検討に向けてそれぞれの考えをまとめてくる

第3回 (9月19日)

- これまでの経緯と今後の進め方
- 基本計画 (案) について
- 運営・維持管理について
- 意見交換 (WS 形式)

- 会議で出された意見を踏まえ基本計画 (案) を修正する
- 次年度から部分的にでも高水敷の整備を始められるように検討を進める

保津町ヒアリング (10月19日)

- これまでの経緯と今後の進め方
- 基本計画 (案) について
- 運営・維持管理について
- 意見交換 (会議形式)

- 草地とじゃこ田が混ざった湿地というイメージをもとに、魚が遡上できる環境整備を検討する
- 次回の WG では、来年度以降の整備の優先順位を検討する

第4回 (11月12日)

- 前回の振り返り
- 基本計画 (案) について
- 運営・維持管理について
- 現地視察
- 意見交換 (WS 形式)

- 管理面を考慮したじゃこ田の形状やシンボルツリーの位置など出された意見を踏まえて基本計画 (案) を修正し、次回 WG での基本計画の内容の決定を目指す
- 保津町自治会を中心に各種団体が協力して運営・維持管理を行う方向で検討を進める

今後の予定

先行して計画がまとまっている保津川左岸堤防の園路は、平成 24 年度内に整備が始まります。また、その他の河川空間の利活用方法についても、平成 24 年度内に基本計画をとりまとめ、平成 25 年度からは実施可能なものから段階的に整備・試行していく予定です。

●第4回水端かわまちづくり WG 時点の基本計画図 (案)

